

伊那民俗

第 140 号

柳田國男記念伊那民俗学研究所

目次	・令和の花祭・花宿見聞録（羽田友行）……………	2
	・報告 第3回南信州民俗芸能フェスティバル……………	4
	・研究所トピックス 2025年1～3月……………	5
	・松本の「青山様」（宮坂昌利）……………	6
	・表紙写真解説（松上清志）……………	7



現在も残る三村家の蚕室 下写真の蚕室は現在、市田柿の乾燥場所として使われている。目棚やカゴロジもそのまま使われており、天井にはホルマリン消毒のための目張りの跡が残っている。



明治43年（1910）の養蚕作業記念写真（飯田市座光寺 三村いさ子氏提供）写真の裏側には、人物名や撮影者名とともに「明治四拾参年六月拾五日」と撮影日が記してある。人物の前に並べられたカゴロジのマブシ上の蚕と後ろの繭、そして撮影日から、おそらく春蚕のオヤトイ作業を終えての記念写真と思われる。三村家は最盛期の収繭量が年間270貫（約1013kg）にも達し、蚕種業も営む養蚕家だった。働いている人数や後ろに見える目棚の多さなどからも規模の大きさがうかがえる。（松上清志）

事務局だより

◇2025年度総会・一般社団法人設立総会・記念講演会・会員研究発表

期日：2025年5月25日（日）

会場：飯田市美術博物館講堂

12：30～13：10 総会

13：30～15：00 記念講演会

演題：「人知れぬ海のいのちー自然を生きる漁師の心意ー」講師：川島秀一氏（東北大学災害科学国際研究所シニア研究員）

15：10～16：40 研究発表（各30分）

①「柳田國男の「感性の歴史」論」

小川直之所長

②「一八世紀の飯田町における馬問屋の商業について」野池優太

③「令和の花祭・花宿見聞録」羽田友行

※総会に出席できない方は同封の委任状に記入のうえ送付してください。

※記念講演会の聴講には事前申込が必要です。

5月9日以降に美博（電話0265-22-8118）へお申し込みください。

◇通常例会

4月26日（土）「三遠南信の獅子舞一龍から獅子へ」櫻井弘人

6月28日（土）「三遠南信の山犬信仰」下平武

※いずれも会場は柳田館、15：00～、参加無料

◇探訪会「上松町駒ヶ岳神社の太々神楽」

駒ヶ岳神社で5月3日（土）に開催される「太々神楽」（国選択無形民俗文化財）を見学します。午前6時半に柳田館北側の美博第3駐車場へ集合。参加希望者は4月25日までに担当の岡庭（marisanomuko@gmail.com）へお申し込みください。参加費は実費となります。

◇研究所部会活動案内

1. 柳田国男研究会

原則として毎月第2土曜日の10：00～12：00、柳田館で開催。『先祖の話』を読み合わせ。

2. 伊那近代思想史研究会

原則として毎月第3土曜日の10：00～12：00、柳田館で開催。『森本州平日記』昭和7年分を読む。

3. 民俗調査部会

原則として通常例会の終了後にミーティングを開催。2025年度から本格的に飯田市下久堅地区の民俗調査を開始します。下久堅の民俗に関する情報や写真を募集しています。

◇所報『伊那民俗』の発行月を変更します

総会の委任状送付に合わせるため、所報の発行月を4、7、10、1月に変更します。2025年度は移行期間のため発行間隔が不規則となりますがご了承ください。

◇例会発表者を募集

10、11月の例会における研究発表者を募集します。希望される方は事務局までお問い合わせください。オンラインでの発表も可能です。

飯田市美術博物館だより

◇文化トピック展示「新収蔵品紹介 修復を終えた田中芳男関係資料」

会期：3月15日（土）～5月25日（日）

会場：美術博物館文化展示室

◇文化講座（見学会）「日本の博物館の父」田中芳男とりんご並木」

案内：飯田・城下町サポーターの皆さん

日時：5月18日（日）午前中

その他関連事業

◆遠山常民大学第5期

2020年11月から再開した遠山常民大学は2025年度も毎月、講義・フィールドワーク等を開催します。詳細については常民大学事務局（Tel.0260-34-2364 針間）までお問い合わせください。

◆南信州民俗芸能ファンクラブ募集

南信州民俗芸能継承推進協議会では、南信州の民俗芸能情報をSNSなどで発信しています。ファンクラブは誰でも無料で入会でき、メールマガジンを無料購読できます。詳細はWebサイト「南信州民俗芸能ナビ」をご覧ください。